

LAB.GRUPPEN 

Lake Controller v6.7.1 (Installer 82) Release notes

機能、互換性、及び既知の不具合に関する重要なお知らせ

Headlines – 新着情報

新機能

- ・ PLM+及びDシリーズの AES67 への対応
- ・ LoadSmart の改善

解決済の不具合

- ・ さまざまな解決済の不具合についてはリストを参照下さい。

Lake Software Release Note

この度は、Lake 製品のお買い上げありがとうございます。

このリリースノートには、新しい機能の追加や、修正された不具合の内容、また把握はしていますが解決されていない不具合を記載しております。これらを把握頂く為に、ご一読をお願い致します。

また、追加された新機能や、修正された不具合を反映させる為に、お使いのソフトウェアをアップデートする事をお勧め致します。詳細は「誰がアップグレードすべきか？」のセクションを参照下さい。

最新ソフトウェア情報

最新情報と新しいソフトウェアは、下記をご覧ください。

<https://www.labgruppen.com/Categories/c/Labgruppen/Downloads>

<https://www.lakeprocessing.com/Categories/c/Lake/Downloads>

Facebook の@lab.gruppen または@Lakepfficial、Twitter の@labgruppenpower または@Lake_official をフォローして頂けますと最新情報をお届けいたします。

テクニカルサポート情報

操作の詳細につきましては、このリリースに含まれております取扱説明書を参照下さい。また、は下記のサポートポータルサイトをご覧ください。

<https://www.labgruppen.com/brand/labgruppen/support>

<https://www.lakeprocessing.com/brand/lake/support>

オンライン・テクニカル情報、FAQ 及びサポート・リクエストは下記をご覧ください。

<https://music-group.force.com/musickb/brand?name=lab>

概要

Lake Controller のリリース v6,7,0 には、AES67 のサポートが含まれています。また、含まれる Firmware は、CAFÉ v1.4.1 もサポートします。

このパッチリリース v.6.7.1 には、見つかった様々な不具合の修正も含んでいます。新機能と解決された不具合につきましては、「新機能」及び「解決済の不具合」を参照下さい。

誰がアップグレードすべきか？

v6.7.0 で追加した新機能の他に、v.6.7.1 の不具合修正によって、以前のリリースで見つかったいくつかの不具合を修正しています。

重要なお知らせ

このバージョンの Lake Controller では、お使いになるすべての Lake 製品を、このリリースに含まれている Firmware でアップデートする必要があります。

また、Lake Controller の旧バージョンは、このリリースに含まれる Firmware では動作しません。

インストーラーのソフトウェアとファームウェアの構成

Component	Version	New in v6.6.1	Comment
Installer	82	×	
Lake Controller	V6.7.1.3	×	Commit #6d11560a
D Series Lake Firmware	Bundle 00.03.30		
ARM	7009581d		
DSP	fe61babc2		
FPGA	80		
DICO	1.2.18, PSU		D80, D120, D200
DSPA	1.2.6		D10, D20, D40
Dante	1.1.2		
Safe Image	0.27		
PLM+ Series Lake Firmware	Bundle 00.03.30		
ARM	7009581d		
DSP	fe61babc2		
FPGA	80		
Front	4.2.11		
DICO	1.2.18, PSU		PLM12K44, PLM20K44
DSPA	1.2.6		PLM5K44
Dante	1.1.2		
Safe Image	0.27		
PLM Series Firmware (and OEM)	Bundle 00.05.01		
ARM	5.01 (7009581d)		
FPGA	41		
Front	1.9.2		
Amp	0.14.5 PSU		
Dante	3.0.1.48		
PLM Safe Mode Image	0.03 (label 99.03)		別途、説明書を参照下さい
LM Series Firmware	Bundle 00.03.01		Commit#f741996a
ARM	3.01 (f741996a)		
FPGA	1058		
Front	2.2.1		
Dante	3.0.1.48		
LM Safe Mode Image	0.02 (label 99.02)		別途、説明書を参照下さい
MY8-LAKE Firmware	Bundle 00.03.30		
ARM	7009581d		
DSP	b0d585e		
FPGA	R6041		

Lake Firmware Update Utilities	6.7.1.3	×	Commit#9e49a62
Preset Manager Utilities			
Preset Manager	6.7.1.3	×	Commit#9e49a62
LM Series	6.7.1.0	×	Commit#310fc9ae
Analyzer Integration			
Smaart v7 / Di	1.2 / 1.0		
Live-Capture / AudioClient	1.2		
Third Part application			Windows7 以降が必要です。 それ以外の場合には、古いバージョンがインストールされています。 (Audinate 社)
DAPI	4.1.0.1	×	
Dante Discovery	1.2.2.3	×	
Dante Control & Monitoring	4.0.2.1	×	
Lake Load Library™	3.14	×	別途、説明書を参照下さい
取扱説明書 / ドキュメント			
Lake Controller 取扱説明書	1.6.0	×	
D Series 取扱説明書	3.0.4		
D Series Quick Start Guide	3.0.4		
PLM+ Series 取扱説明書	3.0.4		
PLM+ Series Quick Start Guide	3.0.4		
PLM Series 取扱説明書&QSG	1.3.5		
LM Series 取扱説明書&QSG	1.3.5		
MY8-LAKE 取扱説明書	1.0		
Lake Network 設定ガイド	1.1.4		

インストーラーのソフトウェアとファームウェアの互換性

このバージョンでは、Dシリーズ Lake、PLM+、PLM、20000DP、LM シリーズ、MY8-LAKE デバイスがサポートされています。必要な Firmware(DSP)のバージョンは、このパッケージに含まれており、同梱の Lake Update Utility でアップデートすることが出来ます。必要な Firmware のバージョンは次の通りです。

Product	Firmware version	Release
D Series Lake	3.30	Installer 81
PLM+ Series	3.30	Installer 81
PLM Series	5.01	Installer 81
LM Series	4.01	Installer 81
MY8 LAKE	3.30	Installer 81

このリリース付属の Firmware は、v6.7.0 以前の Lake Controller v.5.×、または v6.×では動作しません

v6.0 以降、Dolby Lake Processor(DLP)、Lake Contour、MESA Quad EQ はサポートしていません。これらをご使用になられる場合には v5.×バージョンの最新の Lake Controller をお使い下さい。

Copyright © 2018 Music Tribe Brands Sweden AB. All Rights Reserved

DLM – Direct Lake Messaging (3rd party protocol)

このリリースの Firmware バンドルは、DLM プロトコル v3.4 の機能と互換性があります。

CAFE

このリリースの Firmware バンドルは、CAFÉ v1.4.×及び v1.3.×以前と互換性があります。

また、この Firmware は、Amplify 0.1 と互換性があります。

インストール

このリリースは、新しい Lake Controller フォルダーにインストールする必要がありますが、以前にインストールしたバージョンと並行してインストールする事をお勧めします。

Installer 82 (v6.7.1)

Lake Controller

- ・「解決済の不具合」の項目を参照下さい。

Lake Load Library 3.14

- ・TURBOSOUND NuQ シリーズのスピーカー・プリセットを追加しました。
- ・追加されたスピーカー・プリセットにつきましては、別紙の「Load Library リリースノート」を参照下さい。

Installer 81 (v6.7.0)

Lake Controller

- ・AES67 に対応しました。(詳細は「FAQ とテクニカル・ガイドの「AES67 QSG」を参照下さい)
- ・PLM+及びD シリーズ・アンプは、AES67 オーディオ・フローをサポートするようになりました。Lake Controller の Dante and AES67 Configuration ビュー(「Dante Configuration」)のデバイス・タブや、グローバル・コントロール、または Dante Controller から有効に出来ます。
 - Lake Controller で AES67 モード(有効/無効)を切り替えると、Dante モジュール (Audinate Bll)の電源が自動的に OFF になるため、デバイスは数秒間オフラインになります。その後、デバイスは自動的にオンラインに戻ります。
 - Dante Controller で AES67 モードを切り替えた場合には、デバイスの電源を手動で再起動する必要があります。
- ・グローバル AES67 モードのコントロールは、グローバル・コントロール・メニューから行います。(「All」タブ > 「Global Event & Control」 > 「Control」)
 - ここでは、ワークエリア上にある、全てのデバイスの AES67 モードを有効または無効にすることが出来ます。
 - ワークエリアのすべてのデバイスに、現在の AES67 モードが表示されます。
- ・AES67 モードが有効な時、以下の制限があります。
 - Dante および AES67 の両方で、サンプリング周波数は 48kHz のみになります。
 - AES67 オーディオ・フローには、以下の制限があります。
 - マルチキャストのみの対応です。
 - 2.0msec の遅延があります。
 - トランスミッションは最大 8 チャンネルまでです。
 - 「Dual Redundancy」がオンになっている場合、AES67 オーディオはプライマリー・ネットワーク上にある必要があります。

- ・AES67 を有効にすると、Dante Controller から PLM+および D シリーズ・アンプの Dante レシーバーに AES67 フローをルーティング出来ます。
 - AES67 と互換がある Dante Controller は v3.10.0.19 以降です。
 - Dante Controller で行ったルーティングは、Lake Controller で確認出来ます。
 - AES67 のサブスクリプションは、Lake Controller の Dante レシーバーから削除出来ません。(新しいサブスクリプションは Dante Controller で設定する必要があります。)
- ・AES67 の有効/無効、AES67 サブスクリプション及びトランスミッション・フローは、他のインプット、アウトプットのルーティング・データのパラメータと同様に、全て、フレーム・セータとして処理されます(詳細は Lake Controller 取扱説明書の図 20-1 を参照下さい)。このため、AES67 モード、サブスクリプション、トランスミットは、システム・ファイル・リコール、フレーム・リプレイス、フレーム・プリセットで呼び出されます。
 - 例：デバイスのシステム・ファイルが、AES67 モードが有効に設定され、Dante レシーバーに 2 つの AES67 サブスクリプションがあり、このデバイスがオンラインの場合、このシステム・ファイルをリコールすると、AES67 モードが有効になり、2 つのサブスクリプションをセットアップします。
 - AES67 は、ソフト・リセットとファクトリー・リセットで無効に出来ます。
 - デフォルトでは、AES67 は無効に設定されています。
- ・PLM+と D シリーズ・アンプは、AES67 と Dante の双方向ブリッジとして機能します。「Dante Enabled」を有効にすると、「AES67 Enabled」と「Transmit Output」が有効になります。
 - Dante レシーバーは Dante 回線に再度、送信することが出来ます。
 - Dante Controller から AES67 のトランスミット・フローが設定出来ます。
 - Dante の AES67 送信フロー設定は、「Dante and AES67 Configuration」ビューのトランスミット・タブに表示されます。AES67 の送信フローは、Dante Controller に表示されるマルチキャスト・フローNo.で識別されます。
- ・詳細な LoadSmart の結果がイベント・ログに表示されるようになりました。これにより大規模なシステムの評価が容易になりました。
- ・大規模なシステムの評価を容易に行うため、詳細な LoadSmart の結果がイベント・ログに表示されますが、フレームのすべてのモジュールが「#Unused」もしくは「#Spares」ページにある場合には LoadSmart は無効になります。
- ・「Global Control」タブへのキーボード・ショートカットを追加しました。「CTRL+F9」
- ・グローバル・ステータス・インジケータをクリックすると、「Global Event」ログが開きます。
- ・「About」画面(バージョン情報画面)に、現在アクティブなプラグイン全てが表示されます。

Lake Load Library 3.13

- ・Adamson SPB シリーズのスピーカー・プリセットを改良しました。
- ・追加されたスピーカー・プリセットにつきましては、別紙の「Load Library リリースノート」を参照下さい。

取扱説明書／ドキュメント

- ・ D シリーズ、PLM+シリーズ、Lake Controller の取扱説明書が新しくなりました。
- ・ D シリーズと PLM+シリーズの「Architects' and Engineers' Specification」を追加しました。
- ・ D シリーズと PLM+シリーズの「Quick Start Guide」と「Field Reference Document」が新しくなりました。
- ・ D シリーズと PLM+シリーズの「Technical Data Sheet」が新しくなりました。

解決済の不具合

Installer 82 (v6.7.1)

Key	Components	内容
		Critical Fixes
#6926/#6927	Analyzer Integration	SMAART 測定(FIR との接続)プラグイン接続の不具合
		Major Fixes
#6930	Documentation	Lake Controller 取扱説明書の TOC リンクが壊れている。
#6929	System Store/Recall	最後に設定したファイルをロードした時のファイル名称表示

Installer 81 (v6.7.0)

Key	Components	内容
		Major Fixes
#6906/#6908 #6916/#6745	Firmware Update	大規模システムの Firmware 更新時に、Lake Update の安定性が向上しました。
#6907	BLEQ	BLEQ(バンド・レベル EQ)の整合性チェックを改善しました。
#6887	LoadSmart	いずれかのデバイスがスタンバイ状態の時、グローバル LoadSmart の検証がタイムアウトしてしまう。
#6821	Event Log, LoadSmart	LoadSmart 検証が、「User Action」ではなく「Warning(警告)」としてイベント・ログに表示されてしまう。
#6822	Event Log, LoadSmart	v6.3 で削除された「Load Not Verified(ロードが検証されません)」の警告が、イベント・ログに残ってしまう。
#6794	PLM+ and D Series	D シリーズと PLM+シリーズで、ラストメモリーで起動しない事がある。

実装されていない機能

- ・ Lake Controller : MY8-LAKE 用の簡易化ルーティング・オプション
- ・ Lake Controller : MY8-LAKE 用のイベント・ログ

把握している不具合

把握している Lake Controller と Firmware の不具合

Key	Components	内容
#4401	LC, Dante, PLM, LM	Dante デバイス名を Lake Controller で変更すると、オンラインに戻る前に数秒間、デバイスがオフラインになる。
#6528	Synchronization	〇〇S フレームを「EQ/Level ビュー」画面で確定しようとするすると確定されない。
#6171	LM FW	LM シリーズで、プライマリー・クロックとして接続した AES を使わない時、Dante クロックが外れる。
#6651	Synchronization	大規模なシステムを設定している時、EQ フィルター削除、EQ フィルター追加の操作をすると同期するのが遅くなる。 回避策：一旦、システムファイルを Store し、そのファイルを Recall しなおすと元の同期速度に戻る。
#578	LC	モジュール B に「CL3Way」をリコールした時、クロスオーバー画面の Low 側の表示が「High」になる。
#1492	LC	LoadSmart 中のケーブルデータが、コピー/ペースト操作でコピーされない。
#1386	LC, Multiple Controllers	「2aux」モジュールを使っている時にプライマリーとセカンダリーのコントローラーの EQ と AUX タブの変更が同期しない。 回避策：「3aux」を使うか、プライマリーコントローラーから操作を行う。
#1431	LC, Multiple Controllers	プライマリー・コントローラーがセカンダリー・コントローラーから外れた時、「Event」と「Control」のポップアップは編集出来るが、この変更がフレームに反映されない。
#523/#667/#668	LC, Multiple Controllers	2 台以上の Lake Controller を使っている時、セカンダリー・コントローラーに、いくつかの通信障害が発生する場合がある。
#830/#1665	LC, Supermodules	スーパーモジュールにアサインしたモジュールのいくつかは、スタンバイもしくはオフラインの場合、ワークエリアに表示されない。 回避策：全てがオンラインである事を確認して下さい。
#1230	LC, Supermodules	モジュール A/B で 2way を組んでいる場合にスーパーモジュールを使うと不具合を生じる場合がある。
#6874	AES67	AES67 ステイトが変更されると、バッチのリプレイスに時間がかかる。

AES67 クイック・スタート・ガイド

1. v6.7.0 以降の Lake Controller をインストールして下さい。
 2. v3.10.0.19 以降の Dante Controller をインストールして下さい。
 3. 「Lake Update」を使い、デバイスの Firmware をアップデートして下さい。
 4. Lake Controller を起動し、デバイスをワークエリアに移動して下さい。
 5. 「Technical data」画面で、ワークエリアに移動した全ての PLM+/D シリーズのデバイスを「Slave Only」に設定します。デバイスの主電源を切ってから約 10 秒間待ち、再起動させます。
 6. 「I/O Config」の「Dante Configuration」画面を開きます。
 7. 「Enable Dante」ボタンを押します。※これまで同様に、デバイスはネットワークオーディオに対応します。
 8. 「Enable AES67」ボタンを押します。
9. AES67 トランスミッターを起動します。(例：Q-SYS)
10. Dante Controller を起動します。
11. Dante Controller から PLM+/D シリーズに対し、AES67 トランスミッターからの AES67 サブスクリプションの設定をします。

※AES67 サブスクリプションは、Lake Controller の「Dante Configuration」の「Dante Receiver」で確認出来ます。

※Lake Controller から直接、AES67 サブスクリプションを設定することは出来ません。

※Dante Receiver の AES67 サブスクリプションは、Lake システム・ファイルとフレーム・プリセットに格納されます。リコールされたときに、AES67 サブスクリプションは Dante サブスクリプションと一緒にリコールされます。

注意：AES67 を有効/無効に設定している時、デバイスがオフラインになるため、バッチの置換操作に時間がかかります。(デバイスごとに約 30 秒)

【回避策】バッチのリプレイスを実施する前に、「Global」タブから、全てのデバイスの AES67 を有効にします。

Lake Controller v6 は起動時にクラッシュしたり、動作が遅いですか？

Lake Controller v6.x は、v5.x と比較して、より多くのビデオメモリーを使用しています。また、グラフィックのスペックの低い(例えば、インテル Atom)PC の場合、ハードウェア・アクセラレーションの設定が出来ない場合があります。

Lake Controller にはハードウェア・アクセラレーションを ON/OFF するオプションがあります。インテル GPU の PC、例えばスペックの低いラップトップやタブレット PC の場合には、このオプションを OFF にすると、上手く動作します。

この設定はセッション間で有効で、デフォルトでは ON に設定されています。設定にアクセスするには、「マイドキュメント」もしくは「ドキュメント・ライブラリー」フォルダーの「Config」サブフォルダーにあるグラフィックメニュー、または、Lake Controller の「iCini」ファイルからアクセス出来ます。ON にするには、「EMULATION=0」に設定し、OFF にするには「EMULATION=1」に設定して下さい。

(2015 年 5 月)

インテル HD グラフィクス GPU のドライバーに不具合が見つかりました。メーカーがドライバーを更新するまでは、高解像度を使用するとクラッシュする可能性があります。

フルスクリーン・モードでクラッシュが発生する場合には、ウィンドウの画像解像度、または Lake Controller のウィンドウ・モードを 1680×1050 以下に設定して下さい。

Windows7 – Dante チャンネルを登録しようとするエラーメッセージが表示される。

Windows7 上の Lake Controller のインプット・コンフィグレーション・ビューで Dante チャンネルに登録しようとするエラーメッセージが出る場合には、IP が静的で使っている範囲が「169.254.×.×」サブネットにあることを確認して下さい。

Dante は Energy Efficient Ethernet(EEE)に準拠していません。

Dante ネットワークを運用している場合には、スイッチの「EEE」を有効にしないで下さい。Dante のオーディオフローにオーディオ・ドロップ・アウトやノイズが発生することが報告されています。EEE 機能は、Dante のクロック同期メカニズムに影響します。

- 1.「Managed スイッチ」の場合、EEE 機能を無効にします。(アプリケーション・ソフトウェアで切替)
- 2.「Unmanaged スイッチ」の場合、EEE 機能付きのスイッチを使用しないで下さい。

※Energy Efficient Ethernet(EEE)：ネットワークトラフィックが少ない場合の電力消費を抑える機能。

Dante Controller が Lake デバイスのステータス表示が消える場合がある。

大規模なシステムを運用している場合、Dante コントローラーで、いくつかのオンラインデバイスのルーティング、デバイスステータス、クロックステータスが空白になる場合があります。また、ネットワークから「Reload device information」をクリックしても復旧しない場合があります。

回避策：デバイスビュー(デバイスをダブルクリック)に移動し、この画面から「Reload device information」を押して下さい。

PLM シリーズまたは PLM+シリーズのセーフモードイメージの更新

Safe Mode Firmware(別名 Image0)は、フレームに電力が供給され、オペレーション Firmware がロードされた数秒後にスタートします。Safe Mode Firmware は、通常のアップグレード手順ではアップグレードされません。Safe Mode Firmware は、いくつかの重要な不具合修正を行っているため、リリース履歴をお読みになり、最新のバージョンに更新する必要があるか、否かをご確認下さい。

Component	Version	内容
PLM Series Safe Image	0.02	「Dual Redundancy」が有効になっているにも関わらず、イーサネットインターフェイスを使用したデジチェーンモードで PLM が起動してしまう不具合を修正しました。 「Dual Redundancy」は v0.01 では有効に出来ません。
PLM Series Safe Image	0.03	PLM が v0.02 にアップグレードされている場合には、v0.03 にアップグレードする必要はありません。V0.01 の場合にはアップグレードすることを推奨します。 ファームウェアをアップグレード後、電源の再起動で完了します。
LM Safe Image	0.02	起動している間、GPO が Closed になる不具合を修正しました。

お使いのデバイスの Safe Mode のバージョンを確認する方法

PLM または LM で、現在の Safe Mode Firmware のバージョンの確認が出来ます。
「MENU > Frame > Frame Info > FW Version」で、フロントパネルに表示されます。

手順 ※警告：この操作をすると、フレーム内のすべてのプリセットとデータが失われます。

必要に応じて、PLM または LM プリセット・マネージャーを使い、フレームの設定とプリセットをバックアップして下さい。また、アップデートを実行する場合、信頼できる電源とネットワーク接続を確保して下さい。

1. このリリースにある「Lake Firmware Update Utility」を起動します。
2. デバイスを選択します。(PLM シリーズもしくは LM シリーズ)
3. 「Select」をタップします。
4. アップデートしたいバージョンを選択し、タップします。
 - ・ PLM : '99.03 LAB - SAFE MODE IMAGE v0.03 - 1 - Mar-10'
 - ・ LM : '99.02 - SAFE MODE IMAGE v0.02 - 5 - Sep-11'
5. 「警告メッセージ」を読み、実行する場合には OK をタップします。
6. アップデートするフレームを選択し、「Update」をタップします。
「Power cycle(電源再起動)」のダイアログ・メッセージが出るまでお待ち下さい。
7. フレームの電源を再起動して下さい。
8. 「Standby」ボタンが赤色から一時的に緑色変わり、赤色に戻るとアップグレードは完了です。
9. 「Select」をタップし、バンドルされた Firmware をタップします。
10. アップデートするフレームを選択し、「Update」をタップします。
11. フレームの電源を再起動すると Firmware のアップグレードは完了です。
12. 「Factory Reset」を実行して下さい。フレームのフロントパネルのメニューから実行します。

注意点：

- ・ PLM シリーズ：Lake Controller から Dante の二重化を有効にするには、Safe Mode Image v0.02 以降である必要があります。
- ・ Firmware v2.51 以降では、Safe Mode Image のバージョンがフロントパネルの Firmware ビューに表示されます。

PLM+と D シリーズの注意点：

PLM+及び D シリーズでは、Firmware v2.99 以降、Safe Mode Image は DSP の Firmware に含まれています。DSP のアップデートを実行すると、デバイスは必要に応じて、自動的にアップデートします。